

引き取る行動・大阪

講演集会

高橋哲哉
+
中原道子

74%の米軍基地が
沖縄に集中している

沖縄の
変わらない現実

ありますか？

なしですか？

沖縄 (日本の人口比1%、面積比0.6%)

- 安保維持すべき 16%
- 安保破棄・もしくは友好条約か米国を含む多国間安保条約に改定 84%
- 普天間基地の県外・国外移設、もしくは無条件撤去を求める声(辺野古反対) 89%

日本全国

- 日米安保支持率 79%
- 安保反対 11%

日時：2016年12月3日(土) 18:15開場 18:30開始

場所：大阪市立住まい情報センター ホール

● 地下鉄「天神橋筋六丁目」駅下車 3号出口より連絡

● JR環状線「天満」駅から北へ約 650m

資料代：800円 学生・障がい者(介助者も)400円

講演：高橋哲哉さん・中原道子さん

高橋哲哉さん プロフィール

東京大学大学院総合文化研究科教授

1956年福島県生まれ。専攻は哲学。歴史認識、憲法、教育、原発・基地問題など、現代社会の思想的諸問題について幅広く論じる。

主な著書に『テリダ—脱構築』『戦後責任論』(講談社)、『靖国問題』(ちくま新書)などがある。

2015年に『沖縄の米軍基地—「県外移設」を考える』(集英社新書)を出版し、全国各地で「県外移設」=「基地引き取り」の正当性、論理的意味を提言し続けている。

中原道子さん プロフィール

早稲田大学名誉教授

VAWW RAC (「戦争と女性への暴力リサーチアクションセンター」) 共同代表

2006年から宮古島で「慰安所」調査に参加、2008年に宮古島に12の言語で碑文を刻んだ「慰安婦」の祈念碑「女たちへ」を建て、以来毎年宮古島で9月にささやかな集まりと日韓の研究者でシンポジウムを開催している。東南アジア研究者。

著書『歴史は墨でぬりつぶせない』(スペース伽耶 2015)